⑫ 公 開 特 許 公 報 (A) 平4-112705

50 Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成 4 年(1992) 4 月14日

A 01 C 1/04 A 01 G 9/10 · A

8405-2B 7110-2B

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全5頁)

図発明の名称 枚葉状苗床シートの製造装置

②特 頤 平2-232398

学

②出 願 平2(1990)9月4日

個発明者 福田

学 埼玉県三郷市鷹野1丁目122番地

勿出 願 人 福 田

埼玉県三郷市鷹野1丁目122番地

個代 理 人 弁理士 波多野 久 外1名

明 無 書

1. 発明の名称.

枚葉状苗床シートの製造装置

2:特許請求の範囲

2. 基板と、この基板に開閉自在に設けられた 枠体と、この枠体に支持され予定の搭種パターン に即して實設されて植物種子が自重では通過し得ない透孔を多数穿設したスクリーンと、前記枠体内を転動し得る押圧ロールとを有し、前記スクリーン上に粘着性物質を塗布した押圧ロールを転動してシート上に粘着性物質による播種になるをでし、その転写された粘着性物質に植物種子を接着させて苗床シートを形成するようにしたことを特徴とする枚葉状苗床シートの製造装置。

3. 基板と、この基板に開閉自在に設けられた 枠体と、この枠体に支持され植物種子が通過し得るメッシュ状のスクリーンと、予定の播種パター ンにプレス成形により凹部を形成したシートとを 育し、前記基板上に前記シートを置き、スクリー ンを通じて植物種子をシートの凹部内に転移固定 させ、苗床シートを形成するようにしたことを特 数とする枚葉状苗床シートの製造装置。

3. 発明の詳細な説明

(発明の目的)

(産業上の利用分野)

この発明は、枚葉状の苗床シートを形成する ための製造装置に関する。

(従来の技術)

街づくりを初め、公園、緑地、その他において花壇を設けることが美感や潤いを与える上において必要である。

従来では、花を植生させる地盤に花の種子を蒔くか、あるいは苗を植えて生育させるようにしている。

(発明が解決しようとする課題)

しかし広大な面積の地盤に花の程子を蒔いた り、別途生育した苗を所要のパターンで植付ける ことは容易でなく、生産性が低いものであった。

中には芝種のように、同一種の種子を高密度に 植生させるに、むしろのような地中で腐蝕ない は溶解する材料で形成されたシートの面に芝種を 蒔きつけ、これをPVA(ポリピニールアルコー ル)等の水溶性材料でシートに定着させ、このシ ートを地中に浅く埋設することにより広い範囲に わたり芝種の播種を高能率に行なえるようにした

(作用)

基板上に苗床用のシートを置き、枠体のスクリーン上に植物種子を散布して押圧ロールを転動させると、スクリーンが圧縮されるので、その透孔に入っていた植物種子は透孔を通過して基板上のシートに播種パターン状に転移付着し、苗床シートが形成される。

必要によりシートの上面を水溶性または腐食性 物質で被覆する。そしてスクリーンの透孔の配列 ものがある。

しかし、同一種の植物種子を高密度に播種する場合にはこれによって目的を達成することはできるが、花のように一定の間隔をあけ、しかも所要の権生パターンに規則的に植生させるには到底用をなさない。

この発明は上述した事情を考慮してされたもので、花ないしはこれに増ずる植物を所定の植生パターンに従って植生することができ、施工が容易な枚葉状の苗床シートを高能率に製造することができる枚葉状苗床シートの製造装置を提供することを目的とする。

(発明の構成)

(課題を解決するための手段)

上記目的を逮成するためこの発明は、基板と、この基板に開閉自在に設けられた枠体と、この枠体に支持され発泡ウレタンフォーム等の弾性体からなり予定の播種パターンに即して實設されて植物種子が自重では通過し得ない漏斗状の遅れを多数穿設したスクリーンと、前記枠体内を転動し得

パターンを種々の模様、文字形、図形等とすることによりこの苗床シートを用いて地中に施工すれば、植物種子が上記パターンの通りに発芽して育生される。

請求項2の場合は、スクリーンから粘着性物質をシート上に転写し、これら植物種子を散着させれば、粘着性物質の転写部のみに植物種子が付着し、他の面には付着しないので、前記播種パターン状に植物種子が配列固定された苗床シートにプレス加工により成形した凹部に植物種子が入り込み、前記と同様に播種パターン状に植物種子が配列固定された苗床シートが得られる。

(実施例)

以下この発明の実施例を図面について説明する

第1図ないし第5図はこの発明の第1実施例を 示すもので、得るべき苗床シートの大きさに適合 する大きさを有する基板1と、この基板1の長手 方向一端に軸2により開閉自在に取り付けられた 枠体3と、この枠体3内に取り付けられたスクリーン4と、前記枠体3内を転動し得る押圧ロール5とからなっており、枠体3の軸2側の端部には余剰の植物種子を回収する種子回収部6が設けられている。

前記スクリーン4は、発泡ウレタンフォーム等の弾性体からなる板状のもので、このスクリーン4には第5図にその配列例を示すように植物種子の播種パターンに即した配列で透孔7.7…が上下に貫通して形成されている。

この透孔7は、第3図にその1つの拡大断面を示すように、1~数個の植物種子8が入り込めるる凹部9の下部に植物種子8が自重では通過できない程度の挟搾部10を有する漏斗状断面形状とされている。

苗床用のシート11は、例えば紙、スポンジ、 その他適宜な枚葉状のシート材からなるもので、 スクリーン4の透孔7、7…を通して転移する植 物種子8を定着させるため、例えば第6図に拡大 断面を示すようにシート11の表面にPVA等の

8 が配列固定された形態の枚葉状に形成され、この苗床シートを地中に施工すれば、前記のパターンに植物種子8 が発芽し、生育して花や観葉植物を所定のパターン配列で植生することができる。

第7図はこの発明の第2実施例によって得た苗 床シートの一部を示すもので、スクリーン4を薄 手で不透液性のフィルム状(またはシート状、 して に従ったはスクリーンに播種パターンに に従った質孔またはスリットからなる透孔を設け、 このよりレート11上に転替性を設定し、そのによれたシート11上に 転写されたもを性物質13に植物種子8が付着 定写されたもをでしているでは を写されたもをでするようには を記述するが個子を設めている。 によりには植物種子8が付着している。 によりには植物種子8のパターンが形成された苗床シートが得られる。

第8図はこの発明の第3実施例によって得た苗 床シートを示すもので、シート11に予めプレス 加工により播種パターン状の凹部14を形成して おき、このシート11上に植物種子8をスクリー 水溶性樹脂、これに類似の接着機能を持つ物質1 2を予め塗布しておくか、あるいは植物種子8が 転移した後散布するなどして植物種子8を定替さ せるようになされる。

したがって基板1上にシート11をセットし、 枠体3を閉じてスクリーン4上に植物観子8を散 布し、その上から押圧ロール5を転動させると、 透孔7.7…の凹部9に入った植物種子8はスク リーン4が圧縮されることから第4図のように挟 搾部10を通過して下面に押し出され、シート1 1上に落ちる。透孔7.7…以外の位置にあるで 物種子8は押圧ロール5により種子回収部6へ運 ばれて回収される。なおこの回収を確実にするた 物にスクレーバを付役して おくとよい。

こうした後枠体3を開けると、シート11上に 透孔7、7…の配列パターンに従って播種パター ン状に植物種子8が配列固定される。これにより でき上がった苗床シートは、その表面に図形、文 字形、各種模様等の所定のパターン状に植物種子

ン上から転写させることにより植物種子 8 が凹部 1 4 内に入り、他の部分の種子はスクリーン 4 上に残される。こうしてシート 1 1 の上面に水溶性または腐蝕性のある物質を被覆して苗床シートが得られる。

なお、前記枠体3は手で開閉させる他、第9図のように枠体3の開閉端側にローブ15を結婚し、このローブ15を滑車16に掛け廻して足踏ペダル17に連結し、このペダル17を矢印方向に踏むことによりローブ15を引いて枠体3を開けるようにしてもよく、また他の動力を用いるようにしてもよい。また転写ロール5は手で押動させるほか、機械的手段により転動させるようにしてもよい。

〔発明の効果〕

以上のようにこの発明によれば、枚葉状のシートに所定のパターンをもって植物程子を固定させて苗床シートを得ることができるので、この苗床シートを用いて地中に施工することにより植物を所定のパターン配列で植生させることができ、

従来のように人手によりパターンに従った播種や 苗の植付け作業が不要となり、播種作業を高能率 に行なうことができ、変化に富んだ播種パターン を有する苗床シートを容易に画一的に得ることが できるので花壇の造成希望に合った植物の植生生か 変然と行なうことができる。また苗床シートが 葉状となるので、地中への施工時の取扱いが使 またなり、狭いときは透りたさへの対応が容易 であったができ、施工現場の広さへの対応が容易 であるなどの効果を有する。

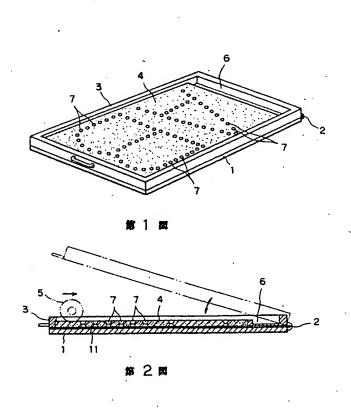
4. 図面の簡単な説明

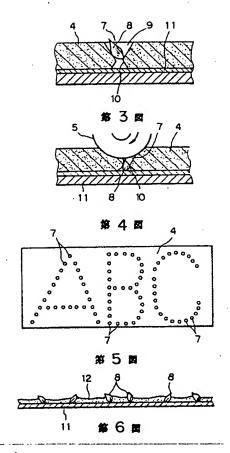
第1図はこの発明の一実施例を示す斜視図、第2図はこの発明の一実施例を示す縦断側面図、第3図はスクリーンの透孔部分の拡大断面図、第4図はスクリーンの透孔部分の植物種子がシート上に転移する状態を示す断面図、第5図は播種パターンの一例を示す説明図、第6図は植物種子が転移固定されたシートの断面図、第7図はこの発明、の他の実施例により得た苗床シートの一部の斜視

図、第8図はさらに他の実施例により得た苗床シートの一部の断面図、第9図は枠体の開閉機構の一例を示す説明図である。

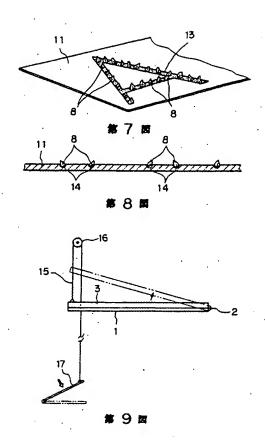
1 … 基板、3 … 枠体、4 … スクリーン、5 … 押圧ロール、6 … 種子回収部、7 … 透孔、8 … 植物種子、11 … シート。

特許出願人 福 田 学出顧人代理人 波 多 野 久





-34-



PAT-NO:

JP404112705A

DOCUMENT-IDENTIFIER:

JP 04112705 A

TITLE:

DEVICE FOR PRODUCING LEAF-LIKE SEEDLING BED

SHEET

PUBN-DATE:

April 14, 1992

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

FUKUDA, MANABU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

FUKUDA MANABU

N/A

APPL-NO:

JP02232398

APPL-DATE:

September 4, 1990

INT-CL (IPC): A01C001/04, A01G009/10

US-CL-CURRENT: 47/56

ABSTRACT:

PURPOSE: To arrange and fix plant seeds on a sheet in a sowing pattern state by spreading the plant seeds on a screen, press-rolling the spread seeds with a press roller to pass through and fixing the passed seeds on the adhesive sheet, the screen having many through holes through which the plant seeds can not pass

by the self weights thereof.

CONSTITUTION: An adhesive sheet 11 for a seeding bed is placed on substrate 1 and plant seeds are spread on a screen 4 of a frame 3 placed on the sheet 11. A press roll 5 is rolled on the spread seeds. The seeds press-charged into the holes of the screen 4 are allowed to pass through the

holes, and the seeds are stuck to the adhesive sheet on a substrate in a sowing pattern to form a seedling bed.

COPYRIGHT: (C) 1992, JPO&Japio